

科目名 薬学領域におけるリーダー養成基礎科目	担当教員
	村木優一、今西孝至、辻本雅之、松本崇宏、幸龍三郎

【概要】  
 専門・認定薬剤師など薬学領域のリーダーを目指すうえで必要となる「専門・認定薬剤師の意義」「医療倫理・生命倫理」「コーチング」「リーダーシップ」について学ぶ。

【授業の一般目標】  
 様々な職場で勤務している薬剤師が、将来の薬学領域におけるリーダーになるために必要な知識・技能・態度について考察できる。

【学習項目・到達目標】

No	学習項目	実施時期 授業形態		時間数 (分)	担当教員	到達目標
1	リーダー養成プログラム総論(1)	4月2日迄に視聴		30		専門・認定薬剤師をはじめ、薬学領域で薬剤師を指導・監督する能力を備えたリーダーとしてのあるべき姿を考察できる。
		e-learning	講義			
2	リーダー養成プログラム総論(2)	2023年4月2日		60		
		スクーリング	演習			
3	リーダーシップ論(1)	2023年4月2日		60		社会や医療の多様化する中で、今後の必要とされる薬学と薬剤師の役割と将来展望について理解する。
		スクーリング	講義			
4	リーダー養成プログラム総論(3)	2023年4月2日		60		激変する医療制度の中で求められる薬剤師像・リーダーシップの在り方を理解する。
		スクーリング	演習			
5	コーチング概論(1)	2023年6月18日		90		薬学領域におけるリーダーに必要なとされるコーチング理論について理解する。
		スクーリング	演習			
6	コーチング概論(2)	2023年6月18日		90		実践の場面を想定したケースでのコーチングスキル演習によるコーチングスキルを習得する。
		スクーリング	演習			
7	プレゼンテーション概論(1)	7月16日迄に視聴		30		口頭発表の長所および短所を理解し、適切な発表資料を作成できる。
		e-learning	講義			
8	プレゼンテーション概論(2)	7月16日迄に視聴		30		ポスター発表の長所および短所を理解し、適切な発表資料を作成できる。
		e-learning	講義			
9	医療・研究倫理概論	10月8日迄に視聴		60		高度な医療プロフェッショナルとして必要な医療倫理・生命倫理・研究倫理について理解する。
		e-learning	講義			
10	リーダーシップ論(2)	2023年11月12日		60		少子高齢化や社会保障制度問題など医療経済学・医療経営学の観点から、今後の薬学領域におけるリーダー像について理解する。
		スクーリング	講義			
11	リーダー養成プログラム総論(4)	2024年2月18日		180		ラーンプログラムを履修したことによる自身の成長や今後の課題を考察し、議論できる。
		スクーリング	演習			

【教科書・参考書】  
 教材はWEB(manaba)で配信予定。

科目名 科学的根拠に基づいた医療 (EBM)	担当教員
	辻本雅之、河津真治

**【概要】**  
 医薬品適正使用を実施するうえで必要となるエビデンスに基づく医療 (EBM) について学ぶ。本科目において、論文の検索方法、医薬品情報の検索方法、評価方法、論文の構成について学び、実際に最新の英語論文の内容を評価するところまで実施する。

**【授業の一般目標】**  
 批判的吟味に基づき日英の論文を読解し、臨床状況、患者の意向を考慮した上で、適切な方針を提案できる。

**【学習項目・到達目標】**

No	学習項目	実施時期		時間数 (分)	担当教員	到達目標
		授業形態				
1	論文検索術概論 (1)	4月30日迄に視聴		30		複数の二次資料の活用により必要な情報を検索し、得た情報を適切に管理できる。
		e-learning	講義			
2	医薬品情報検索術概論	4月30日迄に視聴		60		複数の医薬品情報データベースを活用することにより、速やかに必要な情報を得ることができる。
		e-learning	講義			
3	倫理審査概論	4月30日迄に視聴		30		倫理審査書類に記載すべき情報を列挙でき、倫理審査書類作成時に注意すべき事柄を列挙できる。
		e-learning	講義			
4	論文検索術概論 (2)	2023年6月18日		90		模擬症例について、論文検索および医薬品情報検索を実施し、得た情報を適切に報告できる。
		スクーリング	演習			
5	研究デザイン概論	7月16日迄に視聴		60		PE(I)CO、FINER、アウトカムについて理解し、適切な研究デザインを描くことができる。
		e-learning	講義			
6	論文評価概論 (1)	7月16日迄に視聴		30		研究論文の構成を理解し、論文の内的妥当性、外的妥当性を評価できる。
		e-learning	講義			
7	論文評価概論 (2)	2023年8月27日		60		
		スクーリング	演習			
8	論文作成概論	10月8日迄に視聴		60		研究論文作成時・修正時の注意点を理解し、論文作成の基礎を身に付ける。
		e-learning	講義			
9	ジャーナルクラブ (1)	2023年10月		90		論文を批判的に捉えて、臨床上の課題への適合性を考えることができる。
		Teams	演習			
10	ジャーナルクラブ (2)	2023年11月		90		
		Teams	演習			
11	ジャーナルクラブ (3)	2023年11月12日		180		
		スクーリング	演習			

**【教科書・参考書】**  
 教材はWEB (manaba) で配信予定。

科目名 医療を支える基礎薬学	担当教員
	古田巧、細木誠之、辻本雅之

【概要】

薬学で学ぶ基礎薬学は、医療現場で行われる薬学的なアセスメントと密接に関係し、薬剤師の職能のベースとなるものである。本講義では、薬学的なアセスメントに活用できる構造式、化学反応、生理学、薬物動態学などの基礎薬学のトピックスを物理化学的な観点も交えて解説する。

【授業の一般目標】

基礎薬学に裏付けられた薬剤師業務を実践し、かつ後進に指導できるようになるために、医療現場に直結する病態生理学と基礎薬学を習得する。

【学習項目・到達目標】

No	学習項目	実施時期		時間数 (分)	担当教員	到達目標
		授業形態				
1	医療を支える有機化学(1)	4月30日迄に視聴		45		構造式の基本構造を理解し、描画に利用可能なソフト(Marvin Sketch)を取得し、薬物の構造を作成できる。
		e-learning	講義			
2	医療を支える薬物動態学	5月30日迄に視聴		60		患者の病態変動や併用薬の追加・中止に伴う、薬物動態の変動について予測できる。
		e-learning	講義			
3	医療を支える病態生理学	5月30日迄に視聴		60		患者の病態変動に基づく生理学的変動のメカニズムを説明できる。
		e-learning	講義			
4	医療を支える有機化学(2)	5月30日迄に視聴		60		構造式から、薬物の物性、金属イオン・CYPとの結合性、反応性、消失経路、副作用を起こす脱離基の存在などを推察できる。
		e-learning	講義			
5	医療を支える東洋医学	5月30日迄に視聴		60		東洋医学の考え方や用いられる生薬を理解し、患者の治療の適正化に役立てられる。
		e-learning	講義			
6	医療を支える薬学的アセスメント	2023年6月18日		90		医療現場での患者に関する薬学的な問題点について、基礎薬学の知識に基づきアセスメントできる。
		スクーリング	演習			

【教科書・参考書】

教材はWEB(manaba)で配信予定。

科目名 医療を支える統計学	担当教員
	矢野義孝、地寄悠吾

**【概要】**  
 医薬研究をはじめ、医療政策および医療現場での意思決定には十分な情報の集積とそれに対する統計処理が重要になる。特に臨床研究や、公衆衛生学などの疫学で汎用される医療統計学および社会統計学は、医薬研究や医療問題、健康問題などを評価・把握するうえで重要な学問である。本講義では、それらの活用の意義および手法について学ぶ。

**【授業の一般目標】**  
 医学・薬学・社会科学研究に用いる具体的な統計学の理論および解析手法を習得し、活用できる。

**【学習項目・到達目標】**

No	学習項目	実施時期		時間数 (分)	担当教員	到達目標
		授業形態				
1	統計解析ツール	4月30日迄に視聴		30		統計解析に利用するソフト(EZR)を取得し、簡単な作業を実施できる。
		e-learning	講義			
2	臨床研究計画と統計学	8月26日迄に視聴		90		臨床研究を計画する際に必要な、試験デザインや統計解析計画について理解する。
		e-learning	講義			
3	統計解析の実践・基本編	8月26日迄に視聴		90		統計解析に利用するソフト(EZR)を用いた医薬領域での統計解析事例を学び、その手法を理解する。
		e-learning	講義			
4	統計解析の実践・実践編	2023年8月27日		180		具体的データを用いて統計解析を実践し、医薬領域で汎用されている統計解析手技を習得する。
		スクーリング	演習			

**【教科書・参考書】**  
 教材はWEB(manaba)で配信予定。

科目名 多様化する医療に対する医療人養成	担当教員
	村木優一、古田巧、今西孝至、辻本雅之

【概要】  
 これからの薬剤師は、他者との密接な関わりを求められ、豊かな人間性が要求される。また、医療現場にはさらにAIが導入されることが予想され、ICTの発達で、医療情報の提供や共有のあり方も変化を迎えている。本講義では、芸術の鑑賞や体験を通して、他者を理解し許容する幅広い人間力を磨くと同時に、AIおよびICTの概要を理解し、新時代での指導的な医療人・薬剤師の在り方を学ぶ。

【授業の一般目標】  
 多様化する医療環境や様々な疾患に向けた医療現場での多様な価値観を許容する感性を磨き、あらゆる場面で高いコミュニケーション能力を発揮できる。また、医療現場におけるAIおよびICTの現状を把握するとともに、これらの技術が導入された医療現場での医療人・薬剤師の在り方および指導の仕方を考案できる。

【学習項目・到達目標】

No	学習項目	実施時期		時間数(分)	担当教員	到達目標
		授業形態				
1	ICT活用	2023年4月2日		60		Microsoft TeamsやManabaのようなICTを活用できる。
		スクーリング	演習			
2	医療ビッグデータの活用	10月8日 迄に視聴		60		レセプトデータ、DPCデータ、副作用自発報告データのようなビッグデータの活用方法を理解する。
		e-learning	講義			
3	AI・ICT活用	2023年10月8日		90		AIおよびICT、IoTの概要および医療界での応用を理解できる。
		スクーリング	講義			
4	医療と芸術	2023年10月8日		90		芸術(書道)の世界観を学び、得られた視点・気づき等から、医療に活かすための感性を涵養する。
		スクーリング	講義			
5	これからの医療薬学	2023年10月8日		90		芸術(書道)やAIおよびICTを学び、これからの医療薬学における利活用について考えられる。
		スクーリング	演習			

【教科書・参考書】

教材はWEB(manaba)で配信予定。

科目名 研究計画・実践コース専門科目	担当教員
	村木優一、辻本雅之

【概要】  
「研究」とは、未知の事象を明らかにする活動である。しかしながら、曖昧な研究計画では、その研究成果が主張できない。また、優れた研究計画により実施された研究でも、その成果が伝わらなければ無意味である。本講義では、研究計画の基礎を理解し、適切な研究計画を立て、実践する技能を学ぶ。

【授業の一般目標】  
『適切な研究デザイン』を立てる知識・技能を身に付け、研究を実施し、研究成果を口頭発表やポスター発表の形式にまとめることができる。

【学習項目・到達目標】

No	学習項目	実施時期		時間数 (分)	担当教員	到達目標
		授業形態				
1	研究計画(1)	前期(6月)		90	メンター	自施設の特徴を解析し、FINERに基づき様々なクリニカルクエスチョンを提示できる。
		Teams	演習			
2	研究計画(2)	前期(7月)		90	メンター	PE(I)COを用いてリサーチクエスチョンを構造化することができる。
		Teams	演習			
3	研究計画(3)	前期(8月)		90	メンター	立案した研究計画に対して、適切な統計手法を選択し、研究計画書を作成できる。
		Teams	演習			
4	症例・データ検討会(1)	2023年8月26日		270	メンター	自ら考案した研究計画を概説することができる。 他者の症例報告・研究成果等を理解し、建設的な意見を述べることができる。
		スクーリング	演習			
5	研究報告(1)	後期(11月)		90	メンター	研究データについて適切な統計処理を行うことができる。
		Teams	演習			
6	研究報告(2)	後期(12月)		90	メンター	口頭発表及びポスター発表に適した図表を作成することができる。
		Teams	演習			
7	研究報告(3)	後期(1月)		90	メンター	理解しやすい口頭発表のスライド及びポスター発表のポスターを作成をすることができる。
		Teams	演習			
8	症例・データ検討会(2)	2024年2月17日		360	メンター	自らの研究データについて、口頭発表またはポスター発表を実践できる。 他者の症例報告・論文発表等について理解し、建設的な意見を述べることができる。
		スクーリング	演習			